

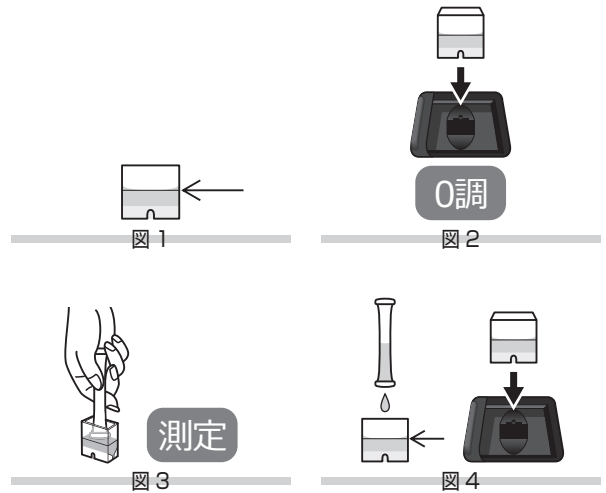
Mo モリブデン

発色：無色→黄色→褐色→赤色
 測定原理：カテコール変法
 測定範囲：5 ~ 150 mg/L (ppm)
 試薬：WAK-Mo チューブ
 測定時間：チューブに吸い込み後 2分

セル：専用カップ
 使用波長：555 nm, 670 nm

測定方法

- 1.【Mo】を押します。
- 2.【決定】を押し、測定画面に切替えます。
3. 検水を、専用カップに1.5mL(線まで)採ります。(図1)
4. 専用カップをセルボックスに入れ、【0調】を押します。(図2)
5. パックテストのチューブに、専用カップの検水を全量吸い込み、同時に【測定】を押します。(図3)
6. 5. のチューブを軽く5 ~ 6回振り混ぜて、すぐに専用カップにチューブ内の測定液を静かに戻し、セルボックスに再びセットし静置します。(図4)
7. 経過2分後に濃度が自動表示されます。



注意

1. この方法では検水中のイオン状態のモリブデン酸(MoO_4^{2-})が測定され、モリブデンの値に換算しています。濁り、沈殿、錯体等を含めた測定値が必要な場合は、あらかじめ溶解してから測定してください。
2. 二硫化モリブデンは測定できません。
3. 得られた値に1.67を掛けると、モリブデン酸としての測定値が得られます。
4. 発色時の最適pHは7です。pHが4 ~ 9の範囲をこえる検水は希硫酸化ナトリウム溶液または希硫酸等で中和してから測定してください。
5. 検水の温度は15 ~ 30℃で測定してください。

共存物質の影響

内蔵の検量線は、標準液を用いて作成しています。他の物質の影響が考えられる場合は、公定法と比較するか、標準添加法により測定値を確認してください。

右表は、標準液に単一の物質を添加した場合の測定値への影響データです。

海水も測定できます。

りん酸イオン、けい酸イオンはモリブデン酸と錯体を形成し、低めの値になることがあります。

1000mg/L以下は影響しない	…Ba ²⁺ 、Ca ²⁺ 、Cl ⁻ 、F ⁻ 、I ⁻ 、K ⁺ 、Mg ²⁺ 、Mn ²⁺ 、Na ⁺ 、NH ₄ ⁺ 、NO ₂ ⁻ 、NO ₃ ⁻ 、SO ₃ ²⁻ 、SO ₄ ²⁻ 、Zn ²⁺ 、陰イオン界面活性剤、ヒドラジン、フェノール
500mg/L	// …CN ⁻ 、Co ²⁺ 、残留塩素
200mg/L	// …B ³⁺ (ほう酸)、Cr ³⁺ 、Cr ⁶⁺ (クロム酸)、Ni ²⁺
20mg/L	// …Cu ²⁺
10mg/L	// …Fe ²⁺ 、Fe ³⁺
2mg/L	// …Al ³⁺
少しでも影響する	…V ⁵⁺ (バナジン酸)

試薬に関するお知らせ

パックテストに付属の使用法をご参照ください。

測定液は約pH7です。